



約 300 人が氣勢を上げた決起大会

「平泉ナンバーの実現を目指して」

平泉ナンバーを実現させる会（宇部貞宏会長）の設立総会と決起大会が1月28日、一関市の東山地域交流センターで開かれました。

同会は、本市を含む県南の自治体や商工会議所など21団体で構成。自動車の平泉ナンバーの実現と、「平泉の文化遺産」を核とした地域の活性化を目指し、設立されたものです。今後、PR活動や要望活動などを行っていきます。

「統合消防団が初の出初式」

昨年4月の統合後、初めてとなる市消防団（千葉昭道団長）の出初式は1月10日、市文化会館（Zホール）などで行われました。各地区から集まった消防団員ら約1300人が一堂に会し、式典や分列行進などを繰り広げました。

式典では、千葉団長が「意識を新たに、地域住民の安全と意識高揚に努めてほしい」とあいさつ。消防団員の活躍に期待を込めました。



カルチャーパークあてりで行われた観閲

「めでたく百歳を迎えた2人をお祝い」

市は、1月に満百歳を迎えたお二人に記念品を贈り、長寿を祝いました。

菊地キヨさん（江刺区六日町Ⅱは、同区玉里で生まれ、22歳のときに、女学校時代に知り合った故・八郎さんと結婚。2男3女をもうけ、孫5人ひ孫5人に恵まれています。葬儀屋を営んでいたキヨさん、まだ車がないころは、花輪などをリヤカーや担いで運んでおり、とても重労働でした。「お茶っこ飲み」が好きで、冗談も言う明るい人柄です。旅行好きだったそうで「体が動く若いうちに旅行するといいですよ」と話していました。



5日 元気にろうそくの火を消すキヨさん



13日 タエさんを囲んで記念撮影

小野寺タエさん（水沢区羽田町字芦ヶ沢Ⅱは、同町和田で生まれ18歳のときに故・剛さんと結婚。2男2女をもうけ、孫6人ひ孫6人に恵まれました。縫い物が好きで着物

を作っていたほか、雑巾を小学校に寄付していました。今も家族で食卓を囲み、3食しっかり食べます。お祝い当日は「みんなの優しさがうれしい」と涙ぐんでいました。

ピアノコンクールで朽木君が見事に入賞

シヨパン国際ピアノコンクール・イン・アジア



賞状を手にする朽木君。一日平均2時間半の練習が実を結びました

世界で最も権威があるといわれるシヨパン国際ピアノコンクール。その下部コンクールであるアジア大会が1月9日から13日にかけて東京都で開かれ、水沢小学校6年の朽木瑛君が2部門で入賞を果たしました。

地区予選や全国大会を突破した朽木君は、アジア大会のコンチェルトA部門と、5・6年生ソロ部門に出場。国内や海外のライバルが参加する中、見事にコンチェルトで銀賞、ソロで銅賞に輝きました。朽木君は「入賞はとても驚いたけど、練習の成果を出せて良かった」と笑顔で大会を振り返っていました。

江刺の地に生まれた清衡の生涯を舞台化

第4回奥州市民☆文士劇「炎立つ」が1月29日と30日、江刺体育文化会館（ささらホール）で上演されました。計3回の公演で約1700人が観賞し、市民劇と文士劇の融合を目指した感動の舞台を楽しみました。

今回の公演は、直木賞作家・高橋克彦さん原作の「炎立つ」。江刺に生まれ、平泉文化を築いた藤原清衡の波乱に満ちた生涯を舞台化しました。原作者の高橋克彦さんなど数々の文士と共に、今回もたくさんの市民が出演。詰め掛けた観客は、出演者たちの熱演に、惜しめない拍手を送っていました。



【テレビ放映】2月27日（日）午後3時～4時24分 | B・C・岩手放送



1 清衡の父・経清が非業の死を遂げた前九年合戦。甲冑はスタッフの手作り 2 父の敵である清原氏に嫁いだ母に反発し、清衡は衣川のまちで暴れる 3 袂を分けた異父弟・家衡を倒したものの、悲しい定めに涙する清衡 4 人質となった母と妻子は自ら命を絶ってしまう 5 公演後のお見送りでは、満足感から笑顔がこぼれる 6 中尊寺金堂の落慶法要。原作者の高橋克彦さんが晩年の清衡を演じた